

## 第7章：学ぶということ！

まず、学ぶということ、つまり勉強は前章で述べたように、贅沢な行為であり、嫌々やることではなく、自ら進んでやることだと認識すること。そして、それを次男にも伝えていました。恐らく実感しているといった感覚ではないと思いますが、都度伝えていかないと、嫌々親や先生にやらされていると言う勘違いに陥ってしまうと思い、中々取り掛からない時には少しずつ表現を変えては伝えていました。偉そうに言うつもりはありませんし、私自身も大学に入るまではそれ程前向きに勉強をしていた訳ではありません。ただ、今の自分があるのは両親が贅沢な勉強に対して、一度も反対することなく、お金をかけて自由な選択をさせてくれたおかげだと言うことは、間違いありません。本当に感謝しています。

その上で、学ぶと言うこと、それは生きていくことだと思いま

す。生きる事、それは常に学ぶことだと思います。ふと、自室の書棚に目を向けると飛び込んで来た、日本人 2 人目のフィールズ賞受賞者で世界的数学者の広中平祐氏著『生きること 学ぶこと』2011 年出版のこの本には学ぶことの素晴らしさがたっぷり詰まっているので、よければ参考にされてみてください。話を戻して、日々の生活をしていると、失敗ばかりです。打率で言うと 3 割も成功していないと思います。事実、朝から晩まで失敗ばかりです。

～抜粋版です～

全文読んでみたいと思われた方は完成版を小冊子として送付させていただきますので、メールにてお問合せください。